

川上建次(松阪市)



三重とこわか国体・とこわか大会文化プログラム

自由から
世界が始まる
アート 2021
三重展

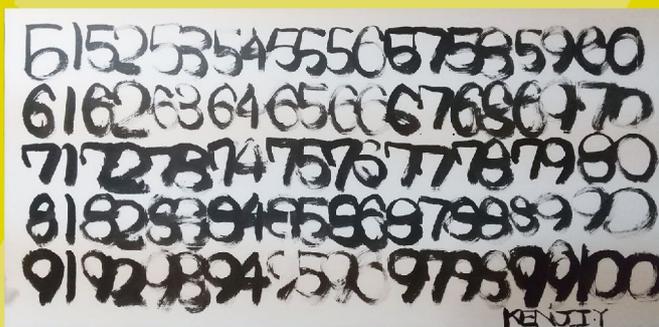
-これが東海のアールブリュットだ!-

2021.8.25(水) - 9.5(日) ※30(月)休館

三重県立美術館・県民ギャラリー 入場無料

主催/問い合わせ 特定非営利活動法人希望の園 (TEL 0598-67-0486)

自由から 世界が始まる アート2021 三重展



吉輪賢司(伊賀市)

これが東海のオールブリュットだ！

伝統や流行・教育などに左右されず、自身の内側からわきあがる衝動のままに表現した芸術「オールブリュット」。本展では障がいのある三重30名、愛知12名、岐阜11名の選りすぐり精鋭アーティストたちが集結！

8.28(土) 13:30

講演「ヘラルボニーと創るミライ」



松田 嵩弥氏 (株)ヘラルボニー 代表取締役社長

小山薫堂が率いる企画会社オレンジ・アンド・パートナーズ、プランナーを経て独立。4歳上の兄・翔太が小学校時代に記していた謎の言葉「ヘラルボニー」を社名に、双子の松田文登と共にヘラルボニーを設立。異彩を、放て。をミッションに掲げる福祉実験ユニットを通じて、福祉領域のアップデートに挑む。ヘラルボニーのクリエイティブを統括。日本を変える30歳未満の30人「Forbes 30 UNDER 30 JAPAN」受賞。



辻勇二(豊橋市)

8.29(日) 13:30

ミュージックブリュット

サウンドアート & ポエトリーリーディングユニット「ねみみ」

サウンドアーティスト「ふくろ」と、画家・詩人の「mana」によるユニット。ふくろは脳性麻痺により手と足が常に緊張し、不随意運動があるため腕、足、腹部を車椅子に固定して生活している。音源制作は唯一自由に動かせる首を活かし、スティックをつけたヘッドバンドを頭に巻いて、センサーのボタンを押して音を打ち込んでいく。特有の感性で音が空間に拡散し、自然の中に溶け込んでいくイメージの音世界を創作している。manaは、その音からインスピレーションを受け作詩、リーディングパフォーマンスする。



白井紀和(飛騨市)

8.29(日) 14:00

トークブリュット

早川拓馬 前野一慶 福田優飛

出品アーティスト3名によるトーク。テーマは創作や生活について、オールブリュットアーティストたちの本当の声を伝えてくれる。



森智満(鈴鹿市)

2021.8.25(水) - 9.5(日)

30(月)休館

9:30~17:00(最終入館16:30まで/最終日は15:00まで)

入場無料

三重県立美術館・県民ギャラリー

津市大谷町11番地(TEL 059-227-2100)



お問い合わせ 特定非営利活動法人希望の園 0598-67-0486 hello@kibounosono.info http://kibounosono.info

主催 特定非営利活動法人希望の園

共催 中日新聞社 中日新聞社会事業団 東海・北陸ブロック障害者芸術文化活動広域支援センター 三重県障がい者芸術文化活動支援センター

後援 厚生労働省 三重県教育委員会 三重県社会福祉協議会 アートフォーラム三重

助成 公益財団法人岡田文化財団

愛知展 2021.8.21(土)~8.29(日)
10:00~17:00 最終入館16:30まで
古川美術館 第2展示室
千種区池下町2丁目50番地
問 古川美術館(052-763-1991)

岐阜展 2021.11.19(金)~11.23(火祝)
10:00~17:00
ぎふ清流文化プラザ 2F長良川ホール
岐阜市学園町3-4-2
問 TASCぎふ(058-233-5377)

新型コロナウイルス感染防止について
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用など感染予防対策へのご協力をお願い致します。また、コロナの感染状況を踏まえ展覧会を中止することがあります。開催に関しましては、HPなど最新情報をご確認ください。

協力 NPO法人愛知アート・コレクティブ/公益財団法人古川知足会/TASCぎふ(岐阜県障がい者芸術文化支援センター)